

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ募金・企業協賛にかかる令和4年度取組実績

1 寄附の実績（R5.3.24時点）

令和4年度実績 139,358,660 円

寄附の種類	件数	寄附金額	備 考
個人	25 件	8,325,000 円	
企業・団体	22 件	129,363,409 円	
イベント等	95 件	34,269 円	イベント等での募金
据置き募金箱	—	267,104 円	
募金グッズ	—	318,925 円	
その他	2 件	1,049,953 円	びわ湖マラソン 2023 (チャリティーランナー) 他
計	144 件	139,358,660 円	(使途) 競技力向上 47,348,660 円 施設整備 32,010,000 円 大会運営 60,000,000 円

<参考>

年度	平成 27 平成 26	平成 28	平成 29	平成 30	令和元	令和 2	令和 3	令和 4	計
件数	80 件	75 件	112 件	57 件	59 件	239 件	174 件	144 件	940 件
寄附 金額	31,066 千円	23,320 千円	30,424 千円	59,362 千円	45,714 千円	36,404 千円	35,483 千円	139,359 千円	401,132 千円

2 企業協賛の実績（R5.3.24時点）

令和4年度実績（契約金額） **21,441,000円**（協賛金 21,100,000円、物品 341,000円）

カテゴリー	企業・団体数	企業・団体名
JAPANGAMES パートナー	2	株式会社滋賀銀行
		株式会社平和堂
オフィシャルスポンサー	0	
オフィシャルサポーター	1	株式会社関西みらい銀行
オフィシャルサプライヤー	0	
大会協力企業	3	びわ湖放送株式会社（物品）
		株式会社エフエム滋賀（物品）
		滋賀県生活協同組合連合会
計	6	

3 主な取組

（1）個人

① 寄附付商品の販売

大会マスコットキャラクターを活用した募金グッズ（ぬいぐるみ、ピンバッジ）について、事務局による直接販売（事務局執務室、イベント、郵送）および滋賀県職員生活協同組合（県内9店舗）・スポーツショップキムラ（県内3店舗）での委託販売を実施した。

また、大会マスコットキャラクターを活用したLINEスタンプの販売を実施した。実写バージョン40種類に今年度はイラストバージョン40種類を追加した。



② 寄附返礼グッズの活用

大会マスコットキャラクターをデザインした缶バッジを用意し、寄附返礼グッズとして寄附の募集に活用した。



③ イベント会場等での募金活動の実施

<イベント会場等での募金活動>

→3月24日時点で、95件の募金活動を行った。

(募金活動を行ったイベント)

- ・全国植樹祭 (6/5)
- ・総会・常任委員会(8/7)
- ・ご当地キャラ博 (10/22~23)
- ・全国スポーツ推進委員研究協議会 (11/17)
- ・条例タウンミーティング(11/20)
- ・手話・要約筆記ボランティア啓発イベント(1/29)
- ・県庁内各種会議

ご当地キャラ博



④ クラウドファンディングサイトによる寄附の受け入れ

「滋賀応援寄附」のクラウドファンディングサイトを通じた個人寄附 21 件

⑤ ホームページ、SNS、広報誌等を活用した寄附募集の周知

大会専用ホームページとクラウドファンディングサイトの相互リンクやTwitter、Instagram、大会広報誌による情報発信

⑥ 募金箱の設置箇所の拡大

県内の民間スポーツ施設の他、民間企業の営業所等に募金箱設置の協力を依頼し設置した。

- ・令和4年度末募金箱設置箇所 247 ヲ所 (令和3年度 202 ヲ所)

⑦ スポーツイベント等とのタイアップの実施

「びわ湖マラソン2023」でのチャリティーランナーの募集において参加料の一部を寄附いただいた。(343 口 171,500 円)

(2) 企業・団体

各種企業・団体等に対して、両大会の開催準備や寄附のメリット(企業イメージの向上、税制優遇措置など)、寄附金の活用用途等を説明のうえ、寄附依頼を行った。

また、協賛金や物品の提供により大会の開催を支えていただく企業協賛制度を令和4年8月から開始し、寄附と併せて企業・団体に依頼を行った。

また、寄附・企業協賛のほかに、以下のようなメニューも提示。

- ・大会マスコット・愛称・スローガンを活用した商品展開

大会マスコットキャラクターや愛称・スローガンを活用した商品について、使用料をいただくもの

…2社（大会マスコットキャラクターを用いたストラップおよびぬいぐるみ、エコバッグ製作）

ストラップ



ぬいぐるみ



- ・「飲んで応援！プロジェクト」

寄附型自動販売機を活用し、自販機設置事業者からあらかじめ設定した飲料一本あたりの金額を寄附いただくもの

…関西みらいローイングセンター（琵琶湖漕艇場）に1台設置。

(3) 寄附・企業協賛募集に係る情報発信

国スポ・障スポの寄附や企業協賛の制度についての認知を広め、個人や企業等による寄附や企業協賛の機運を高めるため、次のような取組を実施した。

- ・大会専用HPにおける情報発信（企業協賛ページの追加）
- ・『企業向け寄附・企業協賛募集パンフレット』の配布
- ・感謝状贈呈式実施と情報発信（贈呈式1回の他、持参による贈呈式実施、HP・報道機関への資料提供）

寄附者への感謝状贈呈（R4. 11. 28）



協賛社への感謝状等贈呈（R5. 3. 22）



- ・滋賀応援寄附（ふるさと納税）と連携した周知（滋賀応援寄附のメニューのひとつに国スポ・障スポ寄附が位置づけ）

- ・企業と地方公共団体とのマッチング会への参加（2回）
- ・大会広報誌「シャイン！！」を活用した情報発信
 - ① 第3号への記事掲載

内容：「寄附と企業協賛のお願い」

媒体：紙面（15,000部作製し、県・市町立施設等に設置するとともに寄附者等へ配付。）、スマートフォン（ウェブ）版、音声版および点字版
 - ② 第3号スマートフォン版のインターネット広告（バナー広告）

媒体：「Yahoo!Japan」

期間：令和4年2月22日～28日

結果：「Yahoo!Japan」2,872クリック
- ・大会広報用リーフレットを活用した情報発信

内容：「グッズを買って、わたSHIGA輝く国スポ・障スポを応援しよう！」

「寄附と企業協賛のお願い」

媒体：紙面（10,000部作製し、県立施設等に設置。）
- ・京都新聞令和5年1月1日朝刊での大会広告における協賛企業ロゴの掲出

大会広報誌第3号

寄附	企業協賛
制度概要 ※県民や企業、団体等の皆様から広く寄附金を募り、両大会の開催を支えていただく制度です。 ※10万円以上の寄附者については、滋賀総合スポーツ公園陸上競技場に設置する銅版に記し大会後も顕彰します。	企業協賛 ※企業、団体の皆様からの協賛金や協賛物品等のご支援をいただく制度です。 ※大会前や開催期間中、さまざまな特典を付与します（マスコットキャラクター広告使用権、各種関係での企業もの掲出など）。
使い道 大会の運営や選手の育成・育成、強化、スポーツ施設の整備などに活用します。	大会の広報活動や開催準備・運営に活用します。

※いずれも無料上の掲載があります。

寄附の詳細はこちら

企業協賛の詳細はこちら

京都新聞広告

感動の瞬間まで、あと1000日
2025年、滋賀県で開催

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ
第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会 2025

国スポ会期 令和7年 9月28日→10月8日 | 障スポ会期 令和7年 10月25日→10月27日

2025国スポ・障スポ カウントダウンキャンペーン
滋賀銀行

インターネット広告バナー画面

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ広報誌
滋賀県実行委員会

(4) 寄附金・協賛金等を活用した事業展開

①寄附金について、次の事業に充当した。

・次世代アスリート発掘育成プロジェクト：充当額 30万円

滋賀県内の小学校5年生を対象に運動能力テストを行い、約40名を選考。「滋賀レイキッズ」として「食育プログラム」や「競技体験プログラム」などの育成プログラムを実施し、将来、全国大会や国際大会で活躍できるトップアスリートを育成

・競技団体育成・強化対策事業（パラアスリート育成支援）：充当額 20万円

全国障害者スポーツ大会等の全国大会において優秀な成績を収めるとともに、恒常的な競技力向上体制の整備、充実、発展を目的として、各競技団体への支援を実施

・ターゲットエイジ重点強化事業：充当額 20万円

わた SHIGA 輝く国スポ大会時に少年種別の主力となる年代の選手をターゲットエイジ強化選手として指定し、指定証やTシャツを配布するとともに、各競技団体の強化事業の支援を実施

・県営金亀公園（平和堂HATOスタジアム）整備事業：充当額 4,901万円

国スポ・障スポ大会の開・閉会式および陸上競技の会場となる県営金亀公園（平和堂HATOスタジアム）の整備を実施

②協賛金については、充当実績なし。

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ募金・企業協賛にかかる令和 5 年度取組計画（案）

令和 5 年度は、引き続き大会マスコットキャラクターを用いた寄附付商品販売や寄附募集の周知に向けた情報発信、企業・団体への寄附・企業協賛の依頼の実施等を中心に取組を進める。

1 個人

開催 2 年前イベントなど、大会開催の周知に向けた広報活動と連携して、幅広い世代を対象とした寄附募集の周知と活動機会の充実を図る。

(1) 寄附付商品販売の促進

大会マスコットキャラクターを用いた寄附付商品について、引き続き事務局による直接販売を行うとともに、委託販売店の拡大を図る。また、機運醸成にもつながるよう、イベントなどへの出張販売も実施する。

募金グッズ



LINE スタンプ



(2) イベント会場等での募金活動の実施

着ぐるみや寄附返礼グッズ等を活用しながら、また、効果的な場合は寄附付商品の販売を組み合わせるなど工夫した募金活動を実施する。

出張販売



(3) クラウドファンディングサイトを利用した寄附の受け入れ

手軽に、かつ気軽に寄附できる手法として、引き続き「滋賀応援寄附」のクラウドファンディングサイトによる寄附の受け入れを行う。

滋賀応援寄附（県 HP）



(4) ホームページ、SNS、広報誌等を活用した寄附募集の周知

大会専用ホームページとクラウドファンディングサイトの相互リンクやSNS、広報誌等を活用した情報発信により、寄附募集について周知する。

募金について（大会 HP）



年度	件数	金額
令和4年度	209件	36,402,757円
令和3年度	209件	36,402,757円
令和2年度	208件	42,754,275円
令和1年度	217件	58,914,443円
平和10年度	214件	38,474,289円
平和9年度	219件	22,332,317円
平和8年度	197件	28,875,239円
平和7年度	218件	22,845,888円

企業協賛について（大会 HP）



(5) 募金箱の設置箇所の拡大

引き続き県立・市町立のスポーツ施設・文化施設の他、民間施設への設置協力を働きかける。

木製募金箱



(6) スポーツイベント等とのタイアップの実施

びわ湖マラソンにおいてチャリティーランナーを募集する。

びわ湖マラソンチラシ



2 企業・団体

(1) 寄附・企業協賛の依頼

引き続き企業・団体に対して、両大会の準備状況や寄附・企業協賛のメリット（企業イメージの向上、税制優遇措置など）、活用用途等を説明のうえ、県庁内関係所属と連携し、協力を依頼する。なお、今後は、県外企業へ向けて、新たに導入する企業版ふるさと納税制度を活用し募金の推進を図る。

また、寄附制度や企業協賛制度への関心や認知度を高めるため、多くの企業が参画する経済団体・各種団体の会合の場を活用した説明を行う。

企業・団体への依頼にあたっては、寄附や企業協賛のほかにも、大会マスコットキャラクター・愛称・スローガンを活用した商品展開などを提案して機運醸成を図る。

※企業協賛制度とは

協賛金や物品の提供により、大会の開催を支えていただく制度。

協賛企業には、協賛カテゴリーに応じて大会マスコットキャラクター・愛称・スローガンロゴの広告使用权や商品化権、企業名を記載した看板掲出等の権利を付与する。協賛金・協賛物品は、大会の広報活動および大会運営等に活用する。

3 寄附・企業協賛募集に係る情報発信

寄附・企業協賛制度についての認知を広め、寄附・企業協賛の機運を高めるため、引き続き情報発信を行うものとし、次のような取組を実施する。

- ・大会HPにおける寄附・企業協賛にかかる情報の発信
- ・大会 SNS (Twitter、Instagram)、県公式 SNS 等による寄附募集の情報発信
- ・企業向け寄附・企業協賛募集パンフレットの配布
- ・インターネット広告による募金啓発の実施
- ・大会広報誌における寄附・企業協賛にかかる記事の掲載
- ・寄附にかかる企業とのマッチング会への参加
- ・感謝状贈呈式の実施（2回程度実施し、HP掲載・報道機関へ資料提供）

4 寄附金・協賛金等を活用した事業展開

① 寄附金について、次の事業に充当する。

- ・次世代アスリート発掘育成プロジェクト：充当額 200万円
- ・競技団体育成・強化対策事業（パラアスリート育成支援）：充当額 100万円
- ・ターゲットエイジ重点強化事業：充当額 300万円

②協賛金については、広報・啓発に要する経費に充当。